

# 今年上半期の各指数・セクター別騰落率ベスト5

## 【上半期】指数等一覧

	2021/12/30	2022/6/30	差(2022/6/30-2021/12/30)	騰落率
日経平均株価	28,791.71	26,393.04	-2,398.67	-8.33%
TOPIX	1,992.33	1,870.82	-121.51	-6.10%
マザーズ指数	987.94	661.56	-326.38	-33.04%
ドル円	115.15	136.32	21.17	18.38%

## 【上半期】セクター別騰落率ベスト5(東証33業種)(2021/12/30~2022/6/30)

	TOP5		ワースト5	
	セクター	騰落率	セクター	騰落率
1位	鉱業	42.93%	サービス業	-22.58%
2位	電気・ガス業	23.08%	電気機器	-21.68%
3位	石油・石炭製品	19.06%	精密機器	-17.50%
4位	保険業	17.76%	金属製品	-13.55%
5位	水産・農林業	11.65%	化学	-12.50%

※この資料での「騰落率」  
= 2021年12月30日終値と2022年6月30日終値で計算

# 日経平均株価・日足チャート

日経平均

チャート

足一覧

2021/12/30終値  
28,791.71円

日足

1年

📄

📄

2022/6/30終値  
26,393.04円

🔍

🖨️



2021/7/8 7/26 8/4 8/16 8/26 9/6 9/15 9/29 10/12 10/25 11/8 11/19 12/3 12/16 12/29 2022/1/19 2/2 2/14 2/25 3/8 3/17 3/30 4/8 4/19 5/2 5/16 5/26 6/6 6/15 6/27

2021/07/01 - 2022/07/01

# 今年上半期の市場別騰落率ベスト10

※「騰落率」＝2021年12月30日終値と2022年6月30日終値で計算

【上半期】東証プライム市場指数騰落率ベスト10(2021/12/30～2022/6/30)

	TOP10			ワースト10		
	コード	銘柄	騰落率	コード	銘柄	騰落率
1位	5726	大阪チタニウムテクノロジーズ	231.14%	6035	アイ・アールジャパンホールディングス	-70.41%
2位	6619	ダブル・スコープ	184.23%	7383	ネットプロテクションズホールディングス	-69.37%
3位	5727	東邦チタニウム	133.86%	2980	SREホールディングス	-68.61%
4位	3482	ロードスターキャピタル	113.02%	4384	ラクスル	-67.20%
5位	6740	ジャパンディスプレイ	91.67%	4385	メルカリ	-66.72%
6位	9501	東京電力ホールディングス	90.91%	4443	Sansan	-63.30%
7位	1963	日揮ホールディングス	82.52%	2412	ベネフィット・ワン	-63.04%
8位	7381	北國フィナンシャルホールディングス	80.78%	2492	インフォマート	-59.94%
9位	6630	ヤーマン	79.63%	3678	メディアドゥ	-59.20%
10位	7011	三菱重工業	78.45%	6920	レーザーテック	-54.24%

【上半期】東証スタンダード市場指数騰落率ベスト10(2021/12/30～2022/6/30)

	TOP10			ワースト10		
	コード	銘柄	騰落率	コード	銘柄	騰落率
1位	7901	マツモト	1004.53%	6659	メディアリンクス	-67.89%
2位	8925	アルデプロ	913.73%	7065	ユーピーアール	-59.68%
3位	2437	Shinwa Wise Holdings	366.47%	7254	ユニバンス	-55.44%
4位	2872	セイヒョー	248.91%	4026	神島化学工業	-53.44%
5位	8139	ナガホリ	243.70%	2484	出前館	-53.26%
6位	4777	ガーラ	180.09%	6626	SEMITEC	-52.63%
7位	9827	リリカラ	164.97%	4080	田中化学研究所	-52.58%
8位	2773	ミューチュアル	158.56%	3945	スーパーバッグ	-51.01%
9位	5964	東洋刃物	100.71%	6245	ヒラノテクシード	-47.62%
10位	3825	リミックスポイント	99.71%	4970	東洋合成工業	-47.41%

【上半期】東証グロース市場指数騰落率ベスト10(2021/12/30～2022/6/30)

	TOP10			ワースト10		
	コード	銘柄	騰落率	コード	銘柄	騰落率
1位	4575	キャンバス	260.56%	4165	プレイド	-80.28%
2位	6561	HANATOUR JAPAN	124.63%	4934	プレミアアンチエイジング	-78.22%
3位	3187	サンワカンパニー	84.83%	4418	JDSC	-72.92%
4位	4393	バンク・オブ・イノベーション	83.73%	4192	スパイダープラス	-72.34%
5位	6069	トレンダーズ	81.13%	4593	ヘリオス	-72.25%
6位	3989	シェアリングテクノロジー	74.59%	2158	FRONTEO	-71.30%
7位	7080	スポーツフィールド	71.55%	4412	サイエンスアーツ	-71.01%
8位	5704	JMC	69.30%	4375	セーフィー	-69.75%
9位	3990	UUUM	68.95%	4176	ココナラ	-69.31%
10位	6181	タメニー	66.34%	4167	ココベリ	-65.99%

# 7月の主なスケジュール

---

最重要なのは13日（水）の米CPI（消費者物価指数）

26日～27日のFOMC（米連邦公開市場委員会）に影響を与える可能性。

前月はCPIが予想を上回り、0.5%利上げ予想が0.75%に

# その他の7月スケジュール

---

1 日日銀短観 8日ETF配当日 10日参院選投開票  
2 1日日銀金融政策決定会合結果発表 22日消費者物価指数

月末から3月期企業の1Q決算が本格化

米1日ISM製造業景気指数、8日雇用統計、14日PPI、15日小売売上高 米決算

欧21日ECB理事会

# 7月の アノマリー

	10年間	1993年～
日経平均	5勝5敗	14勝15敗
NYダウ	9勝1敗	21勝 8敗

米国株はサマーラリーで反転の可能性も??

大統領選の前年は“必ず”高い（23年は上昇へ）

# リ・オープン（経済再開）

---

5月の売上高状況（前年同月比）

「百貨店」

高島屋（8233） 63.3%増（店頭売上高速報）

「アパレル」

ファーストリテイリング（9983）

17.5%増（国内ユニクロ既存店）

「外食」

すかいらーくHD（3197）

22.0%増（既存店）

「セレクトショップ」

ユニテッドアローズ（7606）

41.1%増（既存店）

# 政府が新たな旅行需要喚起策

---

政府は7月上旬にも新たな旅行需要喚起策を行うと発表。  
地元の旅行を支援している「県民割」を全国に拡大するもので、予算は県民割の2.7倍の8000億円規模を投入。期間は当面今年8月末（お盆期間を除く）までとしている。  
公共交通機関を使った場合、割引額は最大で1万1000円（平日クーポン3000円を含む）となる。  
GWから動き始めた人流は、夏休みにかけて一層活発になることが予想される。

去年はひどかった……。

GDP 実質成長率（21年4～6月期）

日本 1.9%

米国 6.5%

欧州 8.3%



# 政府は海外からの入国者数の上限引き上げ

---

政府は海外からの入国者数の上限を6月1日から従来の2倍の1日当たり2万人に引き上げ。10日からは観光目的の入国も認めている。さらに緩和する方向であり、インバウンド需要も徐々に復活する見込み。

コロナ禍で苦しんでいた外食や居酒屋、鉄道、航空、ホテル、旅行、レジャーなど広範囲の業種に業績回復、業容拡大の追い風となりそう。

# ロイヤルホールディングス（8179）

---

外食やホテル、機内食、さらには空港や高速道路SAなどでのコントラクト（業務委託）サービスにも展開している。全国に直営展開する「ロイヤルホスト」を軸とした、外食業界のパイオニア的な存在。2006年に天井の「てんや」を買収。外食ではこのほか、サラダバー&グリルレストランの「シズラー」、ピザレストランの「シェーキーズ」なども手がけている。

ホテルは「リッチモンドホテル」を全国に展開。機内食は1951年に板付空港（現・福岡空港）で納入を開始した同社の祖業。一連のサービスは、国内での旅行や出張の回復や、インバウンドの再開でメリットを幅広く受けることが期待される。

# 経済再開関連銘柄①

---

## コロワイド（7616）

居酒屋を主力とする外食チェーン。居酒屋では「甘太郎」、「北海道」、「土間土間」ブランドなどを展開。焼き肉「牛角」、しゃぶしゃぶ「温野菜」を手掛けるレインズインターナショナルを子会社化。回転寿司「かっぱ寿司」のカッパ・クリエイト、定食屋「大戸屋」の大戸屋HDも傘下に収めている。居酒屋や外食分野の消費回復は追い風に。

## 藤田観光（9722）

名門宴会場「椿山荘」を運営。ホテルはラグジュアリーな「ホテル椿山荘東京」のほか、ビジネス向け「ワシントンホテル」、ファミリー対応「ホテルグレイスリー」、若い訪日客向け「タビノス」などのブランドを手掛ける。グランピング機能を有したホテル「藤乃煌」も。リゾートでは「箱根小涌園天悠」、温泉テーマパーク「箱根小涌園ユネッサン」も運営している。

# 経済再開関連銘柄②

## 西武ホールディングス（9024）

傘下に東京北西部や埼玉西部が地盤の「西武鉄道」と、国内最大級のホテルチェーン「プリンスホテル」を擁する。鉄道は「伊豆箱根登山鉄道」、「近江鉄道」、観光地などでの「西武バス」なども運営。商業施設はアウトレットの「軽井沢プリンスショッピングプラザ」、レジャーでは「八景島シーパラダイス」、「西武園遊園地」にも展開している。プロ野球の埼玉西武ライオンズを運営。

## 共立メンテナンス（9616）

寮事業とホテル事業が主力。祖業である寮事業では学生寮、社員寮を中心に国際交流寮や各種コンセプト寮などを全国で500棟以上運営している。ホテル事業はビジネスホテル「ドーミーイン」を軸にリゾートホテルなどを全国展開。外国人留学生について、政府が新規入国希望者のすべてを受け入れる体制を整えた。留学生の来日延期で苦戦していた寮事業の回復も期待される。

# グロース株は反転の機を伺う？

---

半導体、電子部品などは売られ過ぎ領域に 旧マザーズも

米長期金利の低下が景気か

ナスダックから反転の可能性も～～。

2ナノ、半導体、自動運転、IoT、EV、AI = 通信量の増大

# (1) 半導体市場の主要アプリケーション別成長

- 2000年頃の半導体市場は、パソコンや家電向けが中心。
- 今後は、データセンターに加えて、車載（自動運転・電動車）・産機（IoT・ロボティクス）、スマート家電等のエッジデバイスが市場の拡大を牽引していく予測であり、こうした成長市場におけるシェアを伸ばすことが重要。

世界半導体出荷動向を主要アプリケーションについて調査

車載機器、産業機器は、これからコネクテッドが普及することで、新しいサービスの始まりとともに大きな成長が期待される。

出所 経産省・HP

